令和4年度 第4回 社会福祉施設・法人選考専門分科会議事要旨

· 日時: 令和5年3月14日 (火) 13:30~14:40

· 場所:福祉局船場分室研修室

・出席者 会場出席 平田委員、石田委員、浦野委員 リモート出席 大﨑委員、大仲委員、岡田委員、三田委員、吉村委員

1 議事について

【議案1】既設法人による特別養護老人ホームの創設の増築

法人名:社会福祉法人 はるかぜ福祉会

施設名:(仮称)特別養護老人ホームしらさぎ苑

所在地:大阪市東住吉区今川6丁目

• 質疑

- 1 法人の役員名簿によると、役員が高齢の方に偏っているように見受けられる。特養の経営は長期にわたる運営になるので、評議員や役員の構成についてご一考いただきたければと思う。また、東住吉区で新たに特養を運営されるということであれば、当該区の地域の事情に精通されている方に役員等になってもらうことも考えているのか。
 - →東住吉区の白鷺町会長と今川南町会長と面談をしているが、評議員になっても らえないか打診をしている。役員については、確かに高齢の方が多い。皆さんお 元気であるが、今年の6月で理事は任期が終わるので、若返りを図るために、別 の方を選任する予定にしている。
- 2 人材確保が非常に難しい時代になっている中で、既設特養からの異動は 3 名程度だとすると、少なくとも 30 数名の方を新たに採用することになる。採用する方については、最近は外国籍の方も多いとも聞くが、新人と他施設での経験者、外国人などどのような割り振りを採用していくことを考えているのか。
 - →現在、既存施設では職員は60名いるが、そのうちの3名はベトナムからの留学生で研修生として雇用している。その方たちは日本語があまりできないので、日本語の検定資格を持った職員を3名配置することでやりくりしており、この6名で1事業所を運営している。この1割程度の割合であれば概ね大丈夫であると考えている。
- 3 新人については、ハローワーク等で採用することになると思うが、どのように考 えているのか。
 - →新人を雇用するのはハードルが高い。学校の関係者に話を聞いても学生 1 名に対し、20 施設くらいの応募があるとのことである。もちろん選ばれるような施

設を目指しており、学卒新人の採用も頑張っていきたいと思う。また、未経験の 新人も採用を考えており、これも1割程度を考えている。この方々にはしっかり と研修を行っていきたい。

- 4 他法人から聞いた話では、学卒新人の採用は非常に難しい。逆に採用した人にやめられないようにするため、待遇の改善を行うことが当たり前になってきている。そこはよく考えてほしい。
 - →人材紹介会社からは、新設施設に入職するために、新設施設を整備する予定の法 人の既存施設での雇用を希望する人の紹介も受けている。このような意識やモ チベーションの高い方を雇用していきたい。
- 5 地域では、時々施設整備に反対する動きが起きるが、この地域では歓迎されているのか。
 - →町会長と話をさせていただいた時は、近隣に特養がないので、どうすればよいかとお尋ねをいただき、例えば、敬老の日に 100 人分の入所者に記念品をあげるのはどうかといった質問を受けた。それは丁重にお断りしたが、特養に関しては、歓迎されている。また、建物周りの住民の方にもあいさつしたが、拒絶反応はなかった。ただ、大きな建物が建つので日陰にならないか心配する声はいただいた。また、工事が始まると騒音、施設が運営されれば救急車の音などを心配する声もあった。工事が決まれば、住民の方々に集まっていただき、説明会を開催することを予定している。
- 6 平面図を見ると、短期入所も運営されるようだが、この施設を使ってどのように 運営されるのか。
 - →短期入所は、1階のBのエリアになるが、短期で泊まられるので入所とは違う形になると思う。短期には短期の用意が必要になるので、ショートステイをわかっている職員を配置したいと考えている。
- 7 1階の一角を10名定員で運営されるということでよいか。
 - →

 そうである。
- 8 経営の見込みについて教えてほしい。
 - →開設当初の半年は、稼働率 60%を目指し、1 年後に 80%、1 年半後には 95%に していきたいと考えており、ここで収支を確保する予定になっている。入居者を 確実に増やせるように努めていきたい。

〈意見交換〉

- ・今後の経営見込みについては、入所率が大きく関わってくることになると思うが、 それ以外の資金面等で問題になるようなことはないか。
- ・入所率については、低めの設定にも思えるが、新型コロナの影響や入院への対応 といったこともあるので、適当だと思う。他法人では、100%を達成していると ころもあるので、努力してもらいたい。また、資金面については、多額の寄附や 無担保の融資があり、建設期間中の資金繰りも回っていくと考えるので、特別な 心配はないと考える。

• 結果 適格